

# 第1次産業への支援充実による 移住者・定住者の促進 ～漁業編～

北海道霧多布高等学校

---

高校生プレゼンテーションコンテスト

「～高校生が創る～北海道のこれからの移住・定住」

平成29年10月7日（土）

北海道商工会連合会第2研修室

北海道  
浜中町



# 1 テーマ及び目的の概略

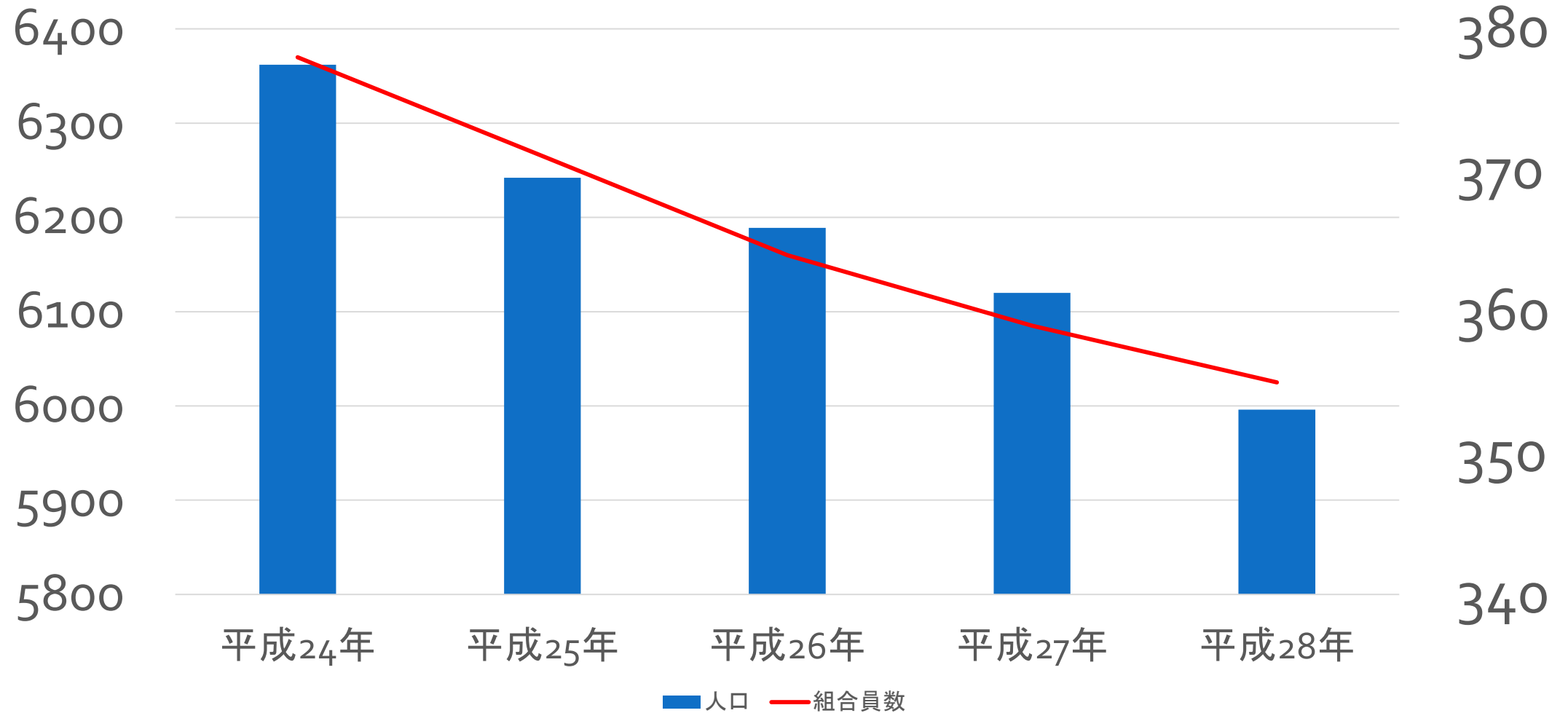
- (1) 漁業・酪農といった第一次産業が基幹産業
- (2) 過疎化・少子高齢化、後継者問題
- (3) 酪農業における町外からの新規就農者
- (4) 漁業の分野における  
新規就業者は？



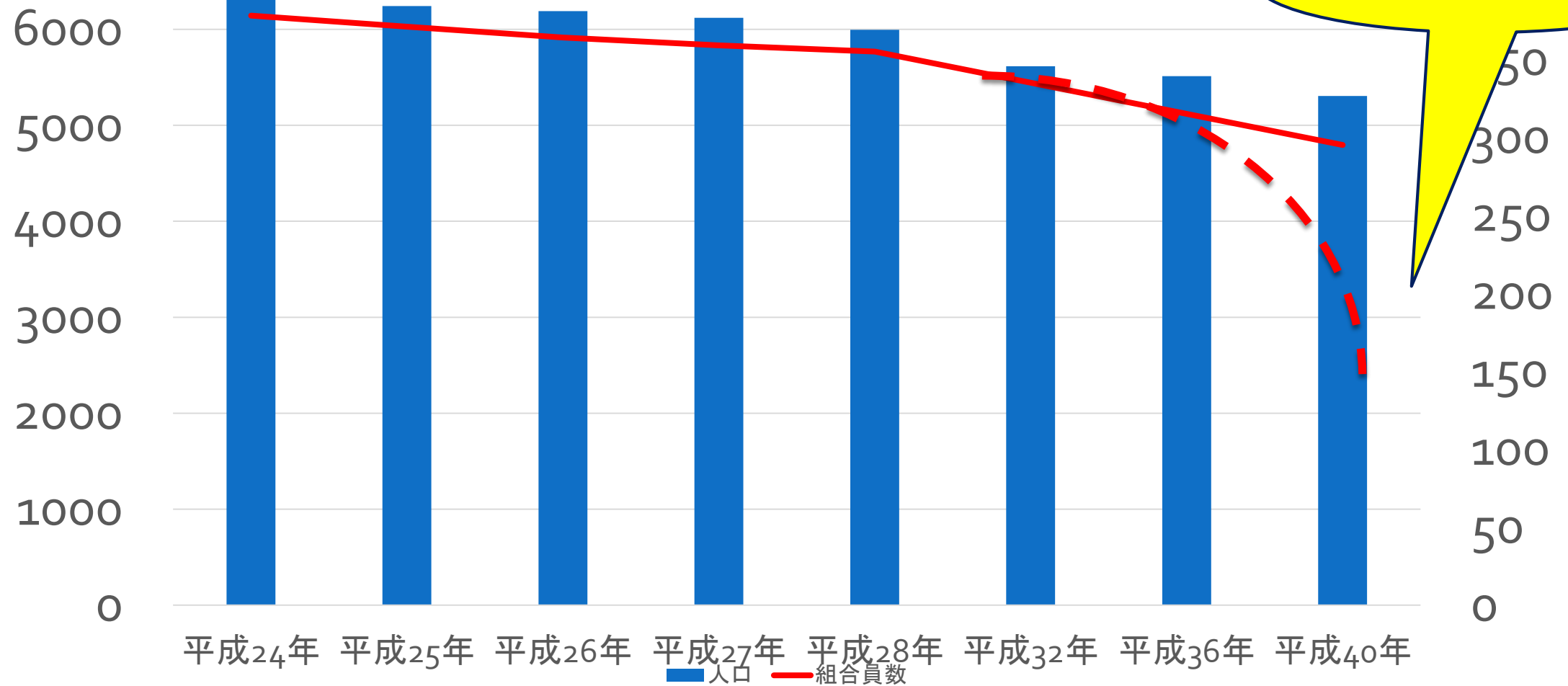
## 2 現状分析①

漁業組合員数の推移と後継者の有無

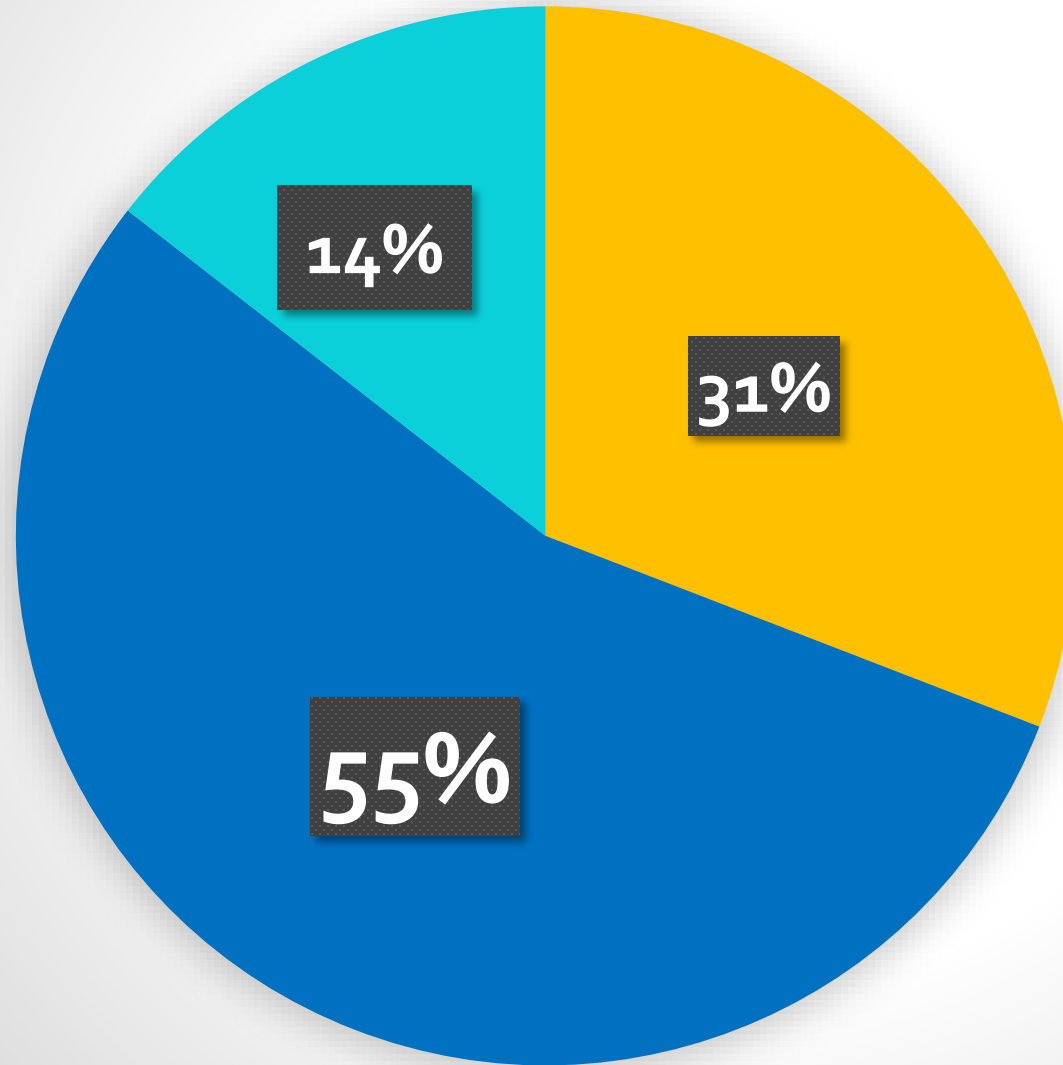
# 浜中町の総人口と組合員数の推移



# 浜中町の総人口と組合員数の推移



# 後継者の有無（アンケート回答 311人）



■ いる

■ いない

■ 不明

## 現状分析②

浜中町

後継者就業交付金制度



## ～ 浜中町後継者就業交付金制度の概要 ～

- ①対象者 新規卒業者（**経営者の子、孫**）  
Uターン者（**経営者の子弟**）
- ②交付金額 月額50,000円
- ③交付期間 就業から最大36ヶ月

### 3 私たちが考えた支援策

- ① フィッシャーマンズステイ制度の導入
- ② 新規就業者への支援制度の充実

# 滞在人数および滞在日数



# フィッシャーマンズステイ制度

繁忙期に昆布漁を手伝ってくれる方に一時的に移住してもらう制度

- 対象
  - 団塊世代の退職者や夏休みの長い大学生
- 期間
  - 短期漁業体験（1～2週間）
  - 長期漁業体験（1～4ヶ月）
- 保障
  - 給与またはアルバイト料の支給
  - 衣食住の環境整備

# 新規就業者への支援制度の充実

- 単純計算で70歳で漁師を引退した場合
  - 後継者不足により10年後には3割以上の漁家が減少
- 養殖漁業の発展と漁家の減少の矛盾
  - 新規就業者への規制緩和と手厚い支援の必要性



# 今私たちにできること ～20年後の将来を見据えて～

若年世代が安易に故郷を去ることなく、町の産業に誇りを持ち、その維持発展に寄与することや魅力を発信する活動を継続していきたい。





協力頂いた浜中漁業協同組合の方々と